

# 聖書の世界 浄瑠璃で表現

人形浄瑠璃文楽でイエス・キリストの生涯を描く「クリスマス文楽特別公演 ゴスペル・イン・文楽」が12月23日、大阪市西区の川口<sup>キリスト</sup>基督教会で行われる。クリスマスチャンの豊竹英大<sup>はしはな</sup>夫が中心となり、聖書の物語を純和風の人形と浄瑠璃（義太夫）で表現するユニークな創作文楽となる。



文楽人形の「マリア」と共に祈りをささげる英大夫（左）ら（中央は岩城聰司祭、右は三味線の鶴沢清友）

## 来月23日「ゴスペル・イン・文楽」

英大夫は1991年から教会などで聖書を題材にした「讚美<sup>さんび</sup>浄瑠璃」を語る活動を始め、99年からは人形遣いも加え文楽としても公演している。今回は、大正期に建てられた同教会の修復費として収益を寄付するチャリティー公演となった。

公演ではイエスの生誕<sup>ほんさん</sup>から数々の奇跡、最後の晩餐<sup>ばんさん</sup>、処刑から復活までを「ハレルヤ、ハレルヤ」と祈りの言葉も交えた義太夫にして語っていく。英大夫は「聖書は世界のベストセラー。世界に発信できる新作として可能性があると思う」と胸を張る。

午後1時半と午後5時の2回公演で、上演前には文楽の解説、上演後はクリスマスらしく「きよしこの夜」を全員で歌う。前売りは完売。当日券若干あり。☎06・4304・2426。